道しるべ

第23号
平成28年2月

長崎大学大学院工学研究科　インフラ長寿命化センター　道守養成ユニット事務局

道守補助員コース

今年度は、9月12日(土)の対馬会場で4名、12月5日(土)の西海会場で28名、1月23日(土)の長崎会場で15名、合計47名が『道守補助員コース』を受講されました。講師の先生による講義と現地における点検実習を行いましたが、長崎会場の点検実習は雪のため中止となりました。

今年度から新しいカリキュラムになり、一般の方にも受講しやすい内容になりましたので、来年度もたくさんの方に道守補助員を受講していただけると嬉しいです。

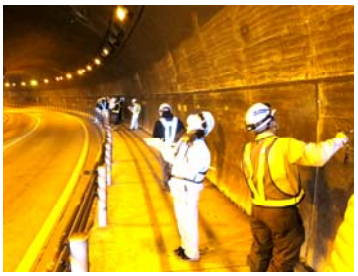
対馬会場における講義

点検実習（法面市道鶏知千原ヶ原）

長崎会場における講義

道守補コース

12 月 4 日(金)より、早岐会場と長崎会場、2 会場同時の「道守補(後期)コース」を開催しました。早岐会場は 15 名、長崎会場は 12 名、合計 27 名の方が講義、演習、現場実習を受講されました。今回は遠方の愛媛からの参加もありました。皆様、お忙しい中、最後までの受講ありがとうございました。



点検実習（西浦上トンネル）

実習前の事前説明

点検実習（波戸新橋）

特定道守コース

10 月 2 日(金)より、「特定道守コース（コンクリート構造、鋼構造）」各コース 8 回が開催され 12 名が受講されました。特定道守の最後のカリキュラムのプロジェクト演習では、現場見学の後にグループディスカッションワークショップを行いました。受講生の皆様は真剣に、そして積極的に取り組んで下さいました。これからのご自身のスキルアップに繋がれば幸いです。

グループディスカッションの様子

発表の様子

ボランティア清掃

12 月 12 日(土)に、今年度 4 回目の長崎愛護団体「道守ユニット」による道路見守り活動(清掃・パトロール)が行われました。道守認定者 13 名、認定者のご家族(お子さん)2 名、大学関係者 6 名、合計 21 名が参加しました。今年度の清掃と道路の点検で、街が綺麗になり、快適になったと思います。参加して下さった皆様、いつも感謝しております。ありがとうございました。来年度もたくさんのご参加お待ちしております！

集合写真

お父さんと一緒に頑張りました！

協力してゴミ拾い

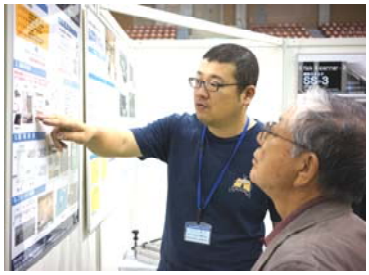
車道にひび割れ発見！！

全員でゴミの分別

長崎県建設技術フェア 2015

10 月 29 日(木)～30 日(金)、長崎県立総合体育館メインアリーナで、公益財団法人長崎県建設技術研究センター主催の「長崎建設技術フェア 2015」が開催されました。昨年と同様、佐賀大学の伊藤研究室と合同で出展いたしました。出展内容は、長崎大学が「“道守” 養成プロジェクト」、「軍艦島プロジェクト(軍艦島 3DCG)」、佐賀大学伊藤研究室が「スリット応力解放法(コンクリートの現有作用応力測定･プレストレス測定)」、「棒型スキャナ(コンクリート内部調査技術)」、「コロコロチェッカー(遠隔自動ケーブル検査技術)」、「道路パトロール支援サービス(道路点検)」を出展しました。たくさんの方に研究について知っていただけたのではと思います。

展示ブース


パネルの説明を来場者にしている様子

成果報告会

２月 12 日(金)、長崎大学文教スカイホールにて、「“道守” 養成ユニット成果報告会～地方の道をいかに守っていくか～」を開催し、210 名の方にお越しいただきました。

主催者挨拶、来賓挨拶に継いで活動報告、実施報告、活動優秀者の発表がありました。特別講演では、東京大学大学院工学系研究科社会基盤学専攻 教授 小澤一雅氏に「維持管理等の入札契約方式ガイドライン～包括的な契約の考え方～」についてご講演いただきました。当センター長 教授 松田 浩からは、「光学的手法を用いた軍艦島の 3D 計測および橋梁点検法の技術紹介」についてお話いただきました。

多くのご来場ありがとうございました。道守認定者３名による「“道守” 養成ユニット実施報告」はご来場者にとても好評でした。

道守活動優秀者の方々、おめでとうございます！
来年度の表彰も楽しみです！
（左から、江下忠氏、山本尚次氏、郡家光徳氏）

道守認定者の実施報告がありました！
来場者からとても好評でした。気持よく依頼を受けてくださりありがとうございます。（左から、井上莉沙氏、野中寿人氏、入船惣持二氏）

（左から、副学長 山下氏、工学研究科長 清水氏、文部科学省係長 小野氏、准教授 森田氏、東京大学教授 小澤氏、センター長 松田氏、長崎県土木部次長 野口氏）

アンケートの実施

今年度、「道守の活動、活用、これからに関するアンケート」を実施いたしました。認定者 199 名中、148 名の方にご回答いただきました。年末年始のお忙しい中、時間を作ってお返事下さった認定者の方々に深く感謝しております。今後の道守の活動に活用させていただきたいと思っております。ご協力ありがとうございました。

認定者名簿もまだ受け付けておりますので、道守認定者間のネットワーク構築のためにご協力をお願いいたします。

「道守活動優秀者表彰の受賞について」（特定道守　山本尚次氏）

今回、２年連続の道守活動優秀者として感謝状をいただき大変嬉しく感じ、”ホっと”したのが率直な気持ちです。昨年は、何もわからないうちにいただきましたが、賞状を人前でもらった記憶が何十年もない私には気持ちのいいものでしたのでその時に思ったのが、来年も〝取ったるぞ～!!〟の気持ちを実行した成果だと感じています。

今回の受賞は、更新条件とされるインフラ構造物の異常の通報、愛護団体〝道守〟養成ユニット長崎地区参加、愛護団体(社内)参加、工業高校「インフラ長寿命化実習」の講師、センター等が主催する行事へ参加等、１年を通じて活動した結果です。

私は、“道守”養成ユニットが始まった平成２０年度からセンターにお世話になっております。

当初は、ボランティアで知名度もなく自己満足の活動でしたが、昨年道守が国交省の民間資格と認定されたことにより多くの会社がメリットになると感じたのではないでしょうか。

又、来年度からは長崎県の総合評価落札方式による入札においても、今年より道守にアドバンテージ配点されると聞いており、今まで動きが鈍かった会社、認定者の活動が活発になるでしょうし、この活動に対する価値の本質を知る人には重要になってくると思います。

これからも、“道守”がより多くの人に周知するよう、有意義なものとなるよう活動して、来年度も３年連続目指して頑張ってまいります。

「道守補の講座を受講して」（道守補　井上莉沙氏）

道守補を受講して、座学だけではなく、実際の検査器具を使用出来たり、橋の点検をしたり、実践的なことを経験できたのがとても勉強になりました。普段使えないような非破壊試験での点検も何種類も体験できたので良い経験になりました。

また、今までは、道路を走っていて大きなクレーンや重機などがある現場ばかり気になっていましたが、講習を受けた後では、橋梁や道路の状態も見るようになり、ポットホールやひび割れなどが気になるようになってしまいました。でも、地域のインフラを支えるうえで、私のこの意識も大事だと気付きました。地域のインフラを支えるのは普段そこで暮らしている地域の方々だと思うので、道路に異変がないか、普段から気にかけて自分たちのまちは自分たちで維持管理していこうという意識が大事だと思いました。

私自身もこの講義で得た知識と実践経験を活かし、長崎のみちを守っていけるような技術者になりたいです。

「道守補としての活動報告」（道守補　川口博生氏）

【名古屋でのMEワークショップの参加報告】

（1）道守・ＭＥ活動報告(連携会議)及びシンポジウムに参加して１月 28 日(木)・29 日(金)に名古屋市で開催された「長崎道守、岐阜・愛媛・新潟・山口ＭＥ修了生によるワークショップ」　及び「シンポジウム（続・安全な“みち”のために)」に参加させていただきました。

長崎道守からは、道守の吉川國夫さん・郡家光徳さん、道守補の田中和幸さん・酒井英司さんと私の５名が参加しました。

28 日(木)は、４大学(長崎大学・岐阜大学・愛媛大学・長岡技術科学大学)の道守・ＭＥ活動報告を行った後、全体を６グループに分けてのワークショップで「道守・ＭＥを継続していくための課題や今後の進め方」について話し合い、それぞれ発表を行いました。

【各グループの発表の様子】

【長崎道守代表で発表された吉川さん】

また、29 日(金)は、シンポジウムの中で大学ごとの修了生活動報告があり、午前中に取りまとめを行い、長崎道守代表として吉川さんが発表してくださいました。

※今回参加してみて…

皆さんの道守・ＭＥとしての意識の高さに驚き、感心(反省)させられた２日間でした。

今回の参加を機に、今後、より多く活動していきたいと考えています。

（まずは上五島地区の道守補が集まる機会を作りたいと考えています。）

（2）長崎大学工学研究科(インフラ長寿命化センター)との「社会資本の維持管理に関する覚書」の締結について新上五島町においては、長崎大学との包括連携に関する協定書に基づき、社会資本の維持管理に関する覚書を２月８日に締結させていただきました。

覚書を締結することにより、本町が管理する社会資本（道路や河川等ならびにその付属施設）の維持管理の充実を図るとともに、地域の再生・活性化に寄与していただけると考えております。

【H26 上五島での点検演習状況】

【参加者集合写真】

今後、維持管理に係わる技術支援のほか、本町職員に対する教育・研修をお願いしていく予定にしています。

「名こそ惜しけれ」（松田　浩　教授）

平成 27 年度は土木学会の研究討論会で道守に関する話題提供を求められました。そのほかに下記に示すような講演を行いました。2 月 12 日の道守成果報告会での技術紹介は、それらの講演会での内容をアレンジしたものです。PC 技術講習会には恩師渡邊明先生が 3 月に腰を骨折されたにもかかわらず「今日は大和魂で聞きに来た」と最前列で聴講され大変緊張しました。講習会での講演では渡邊先生から頂いた葉書を紹介しました。「“実る程頭の下がる、、、”の基軸でやれ」と。三重県職員研修では帰路奈良に立ち寄り大学の後輩、北九州市では大学同期、鉄鋼協会では“たおやかプログラム”広島大学石井抱先生、北海道では長崎大学構造出身の北海道開発庁の岳本氏、地理空間情報の会では九州大学三谷泰浩教授、道守の方々、そして SIP インフラ研究会では藤野陽三先生の依頼で岐阜大学の八嶋厚先生とご一緒しました。ハードなスケジュールの中 PPT の資料作りはだいぶ早く作れるようになりました。

2015.06.24　第43回プレストレストコンクリート技術講習会（福岡会場）
光学的手法によるコンクリート構造物の点検法の開発

2015.08.03　平成27年度三重県職員協働研修「土木施設の生涯を考えるセミナー」
インフラ長寿命化への挑戦・長崎県

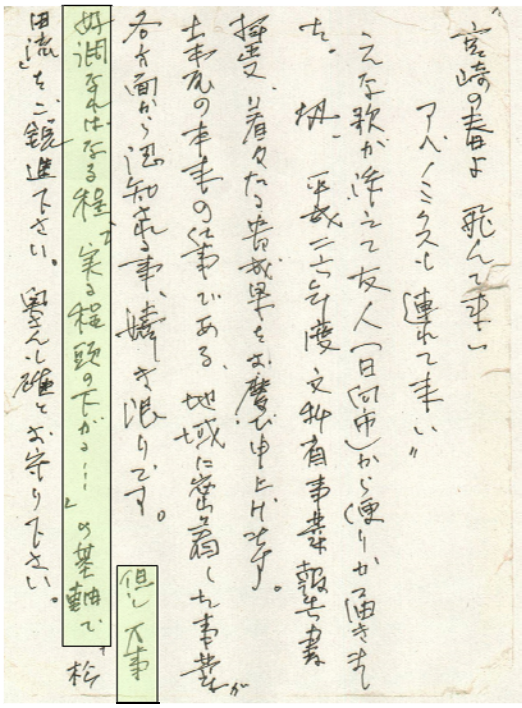
2015年11月13日（金）北九州市民カレッジ
～世界文化遺産登録記念講座～　わがまちの誇り　世界遺産の魅力と学びを伝えよう
「長崎市の世界遺産（軍艦島3D映像等）」

2015.11.26　日本鉄鋼協会
計測・制御・システム工学部会シンポジウム「画像計測に基づく設備診断技術」
「光学的計測による大型構造物の点検・検査手法の開発とその適用例」

2015.12.03　北海道土木技術会建設マネジメン研究委員会アセットマネジメント小委員会
「インフラ長寿命化への挑戦・長崎県の取組」

2015.12.15　地理空間情報活用推進に関する長崎産学官連携セミナー（国土地理院）
人口減時代の道路インフラ維持管理の課題　～GISへの期待～

2015.12.17　戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）
「インフラ維持管理・更新・マネジメント技術」
長崎県のインフラ維持管理の現状、長崎大学の取り組み、新技術導入の現状と課題など


宮崎の春よ　飛んで来い
アバノミクスも　連れて来い
こんな歌が流行って友人（日向市）から便りが届きました。
扨、平成二六年度文部省事業報告書
拝受、着々と成果をお慶び申上げます。
土木元の本業の事ではある、地域に密着した事業が
各方面から認知される事、嬉しく思います。
但し、大事
仏教でいう「実る程頭の下がる…」の基軸で
田流をご鍛錬下さい。暑さ厳しくお守り下さい。
松

今年 1 月 29 日に岐阜大学シンポジウム「続・安全な“みち”のために」に参加しました。道普請人理事長木村亮先生（京都大学教授）の基調講演「世界の未舗装道路を住民と治す～住民へのチャリティから住民ビジネスへの転換～」では、土木技術で貧困削減を可能にするために、アフリカで住民とともに道直しを行い、人々の暮らしを守り豊かにするという土木の原点のお話がありました。病院や学校を造っても、道がないと機能しないと。Question、Passion、Mission、そして Innovation の QPMI の必要性を力説されました。
QPMI を聞いて星野仙一監督の Passion、Mission、Action を思い出しました。2008 年の卒業式で話した内容です。クラーク博士の”Boys Be Ambition!”とともに次のことを話しています。

正月深夜の年越しトーク「心に灯をともす」という番組で養老孟司先生と犬養道子さんの対談で「リーダーになるための条件は」ということが話題になりました。養老先生が「下の人の気持ちになることだ」と。それを受けて犬養道子さんが「そうそう、日本語では『理解する』と訳すけど、英語ではそれを“Understand”と言うのです。」と話されました。

この話をした後、直属の上司の﨑山毅先生から「understand はなかなかいい言葉だね」と言われたことも本文を書いていて思い出しました。昨年暮れにお電話を頂きましたが、大変ご無沙汰していると反省するばかりです。“Understand”は全く忘れていた言葉です。“忙”しすぎで“忘”れてしまっていました。「忙しい」とは“心が亡びた”、そして“忘れた”とは“亡くした心”と書きます。『忙しくしないで忘れないようにしなくては』と思います。

また、木村亮先生の講演を聴いて、2002 年のアフリカ・ヨハネスブルグ・サミットに国連環境計画親善大

使としての加藤登紀子さんの言葉と、ペシャワール会中村哲医師のアフガニスタンでの土木事業が思い浮かびます。いずれも恩師である出光隆先生が長崎大学の講演で話された内容です。

道守成果報告会の翌日２月 13 日、14 日にＮＨＫスペシャル“司馬遼太郎思索紀行　この国のかたち”「“島国”ニッポンの叡智」と「“武士”700 年の遺産」を見ました。司馬遼太郎より藤沢周平と口酸っぱく恩師から教えられましたが、「名こそ惜しけれ」と「“公”の意識」が何度も番組には出ていました。「滅私奉公」、「利他主義」、「清貧の思想」は、渡邊明先生、出光隆先生、﨑山毅先生、そして昨年末に亡くなられた築地恒夫先生からよく教えられた言葉です。『忙しくしないで忘れないようにしなくては』の想いを強くしました。

最後に、建設業界（2016.Vol.57）に大石久和元国土交通省技監の「ドイツの競争力」が掲載されています。要約すると以下のような内容です。ドイツ人と日本人の違いは何だろうと考えてしまいます。司馬遼太郎ならどのように書かれるだろうかと知りたくなります。

2013 年 9 月の選挙でメルケル首相は勝利し、三党連立政権が発足したが、そこでは日本では到底考えられない「インフラ整備」の方針があるという。メルケル首相たちは、質の高い交通インフラがドイツの競争力と経済成長をもたらし、それが国民生活の豊かさにつながるとして、「この 20 年間の過小投資」を根本的に見直すと言っているのである。すでにアウトバーンなどの質の高い交通インフラをもち、圧倒的な競争力をもっているのにこの認識なのである。

編集後記

こんにちは。今回の道しるべで３回目の編集を担当しました、インフラ長寿命化センターの大野です。

今年度は、認定者の方々にアンケートをお願いしましたが、その結果多くの方がこの道しるべを読んでいただいていると知り大変嬉しく感じました。

そして、今回からセンターの先生方に記事を書いていただくことになり、第 1 号はセンター長の松田先生にお願いしています。また、前号は、道守の山口さんに記事の協力をしていただき、今回は特定道守の山本さんと道守補の井上さんと川口さんが記事を書いて下さいました。

これからも皆様と作り上げていく「道しるべ」を楽しんでいただきたいと思っております。

今後も、皆様からのご意見や活動、報告したい事など、掲載していきたいと考えておりますので、何か情報等ございましたらお気軽にご連絡下さいませ。皆様からのたくさんの原稿をお待ちしております。

（大野朝美）

発行　2016．2．22

問合わせ先

長崎大学大学院工学研究科　インフラ長寿命化センター　道守養成ユニット事務局
〒852-8521　長崎市文教町 1 番 14 号　TEL　095-819-2880　FAX 095-819-2879
Mail: michimori@ml.nagasaki-u.ac.jp

【公式サイト】
http://ilem.jp

【Facebook】
https://www.facebook.com/ilem.nagasaki